

1. 諸会議の開催

(1) 理事会

開催日	名 称	議 題
H28. 5. 19	平成 28 年度第 1 回理事会	1) 2015 年度 事業報告 2) 2015 年度 決算
H28. 10. 26	平成 28 年度第 2 回理事会	1) 定款の改正 2) 第二四半期財務状況 3) 評議員交代の同意
H29. 2. 14	平成 28 年度第 3 回理事会	1) 社会福祉法改正に伴う定款の変更 2) 評議員選任・解任委員会の運営細則の制定 3) 評議員選任・解任委員の選任及び委員会の招集 4) 評議員候補者の推薦
H29. 3. 21	平成 28 年度第 4 回理事会	1) 2017 年度 事業計画 2) 経理規程改正 3) 2017 年度 予算 4) 定款施行細則 5) 2017 年度 定時評議員会の招集日時の設定

(2) 評議員会

開催日	名 称	議 題
H28. 5. 18	平成 28 年度第 1 回評議員会	1) 2015 年度 事業報告 2) 2015 年度 決算 3) 理事退任に伴う理事選任
H28. 11. 2	平成 28 年度第 2 回評議員会	1) 定款の改正 2) 第二四半期財務状況
H29. 2. 15	平成 28 年度第 3 回評議員会	1) 社会福祉法改正に伴う定款の変更 2) 評議員選任・解任委員会の運営細則の制定
H29. 3. 21	平成 28 年度第 4 回評議員会	1) 2017 年度 事業計画 2) 2017 年度 予算

(3) 監査等

開催日	名 称	備 考
H28. 4. 20	平成 27 年度 決算監査	監事による決算のための監査
H29. 1. 18	平成 28 年度 社会福祉法人・施設一般検査	茨城県保健福祉部

(4) 評議員選任・解任委員会

開催日	名 称	備 考
H29. 2. 20	評議員選任・解任委員会	H29. 4. 1 に任期が開始となる評議員の選任

2. 実施事業

1) 電話相談員の募集・養成及び研修

- (1) 第32期電話相談員養成講座受講生を募集し、22名の受講生を決定し養成講座を開講した。
- (2) 第31期電話相談員の養成2年目の研修を修了し、新たに10名を電話相談員に認定した。
- (3) 継続研修としてグループ研修(8回)・全体研修(2回)を行い、研修・相互サポート・組織への理解を深めた。
- (4) 電話相談員認定3年目・5年目の節目の研修・希望スーパービジョン・アドバンス研修等を実施した。
- (5) 研修スタッフの研修を継続的に実施した。
- (6) 研修スタッフ第6期養成講座を実施した。
- (7) 全国研修会(9名)・各種研修会などへ積極的に参加を図った。

2) 調査・研究活動

2016年(1~12月)の統計資料を作成した。

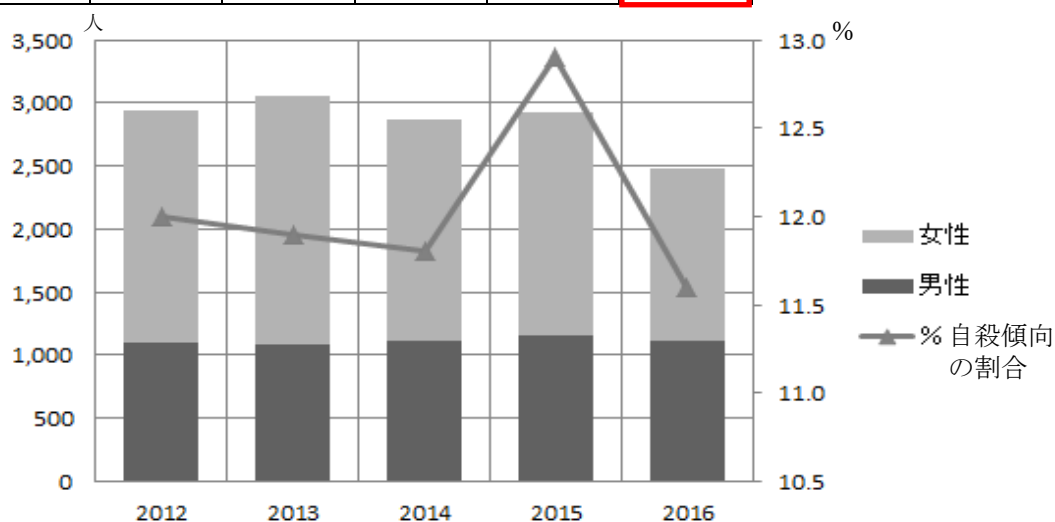
(1) 2016年総受信件数と自殺傾向件数 (単位:件)

	男性	女性	計
総受信件数	10,135	11,158	21,293
自殺傾向受信件数	1,117	1,358	2,475

* 件数には、厚生労働省補助事業フリーダイヤルの件数を含む。

(2) 自殺傾向受信件数の推移 (単位:件)

年度	2012	2013	2014	2015	2016
男性	1,096	1,084	1,116	1,158	1,117
女性	1,851	1,966	1,751	1,771	1,358
%	12.0	11.9	11.8	12.9	11.6
男女計	2,947	3,050	2,867	2,929	2,475
総件数	24,487	25,619	24,215	22,739	21,293

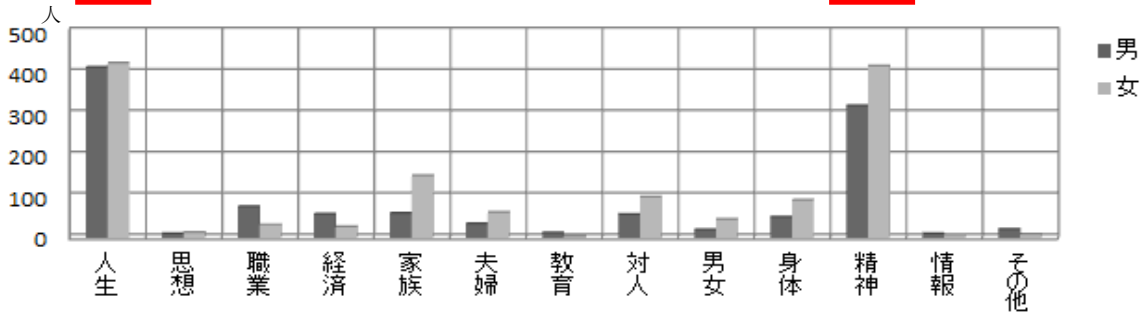


5年前に比べ総受信件数は、3,000件減少しているが、自殺傾向割合は12%前後を推移している。2016年は前年に比べ、女性が413件と大きく減少した。

(3) 「内容別」自殺傾向の電話

(単位:件)

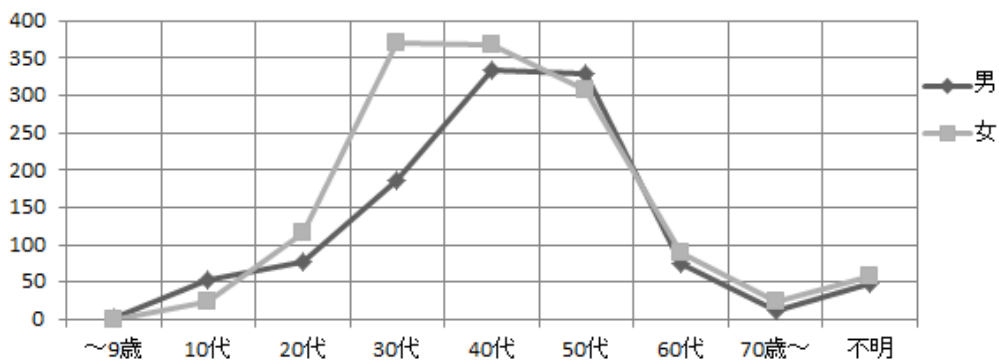
	人生	思想	職業	経済	家族	夫婦	教育	対人	男女	身体	精神	情報	その他	合計
男	411	8	74	56	58	33	10	55	18	49	318	8	19	1,117
女	422	12	30	25	149	60	3	97	43	90	414	6	7	1,358
合計	833	20	104	81	207	93	13	152	61	139	732	14	26	2,475



男女とも抱える悩みは「人生」、「精神疾患」に集中している。さらに、男性は「職業」、女性は「家族」に関する相談が多い。生きづらさや孤独、精神的疾患の苦しみを訴える相談が多いことが見てとれる。

(4) 年代別相談件数

	～9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳～	不明	合計
男	2	54	78	187	334	328	74	11	49	1,117
女	0	25	116	370	368	308	88	25	58	1,358
合計	2	79	194	557	702	636	162	36	107	2,475



年代別では、男性は40代、50代が最も多く、女性は30代、40代が多く見られる。
* 掛け手の年代は、相談員の推定による。

3) 広報活動

- (1) 機関紙（年3回）及び事業報告書を発行した。
- (2) マスコミや県市町村の広報部門へ情報を提供した。
- (3) ホームページで広報活動を行った。
- (4) ポスター（茨城いのちの電話・フリーダイヤル・相談員募集）を広報のために活用した。
- (5) 機関紙、募集要項の配布先を拡大、病院・学校等約300団体を追加した。

3. 電話相談員の交流・親睦

- (1) 電話相談員の情報交換等のために、グループ連絡会を奇数月の第1土曜日に開催した。
- (2) 内部連絡紙を毎月1回発行した。
- (3) 地区別集会を開き、役員・相談員の交流を図った。
- (4) 相談員のリフレッシュのため、笠間工芸の森において交流会を企画し、25名が参加した。
- (5) ボランティア相談員を相互にサポートする具体的な活動として、「ほっとスタッフ」の仕組みを整え、2017.3月から試行を開始した。

4. 財政基盤の確立

- (1) 財政の安定を図るために、後援会員の拡大をはかり、広く寄附金を募った。
- (2) 催事及びバザーを開催した。
- (3) 手づくり会・常設バザー・アルミ缶回収・募金箱の設置等自助努力を積極的に行った。

5. その他

- (1) 自殺予防及び相談員募集の周知活動のため、2017.1.7つくば市イーアスつくばにおいて開催された「ボランティアフェスタ in つくば」に初参加した。
- (2) 茨城いのちの電話 水戸開局25周年記念事業の準備を行い、2017.7.23茨城県総合福祉会館において、奈良・薬師寺執事 大谷徹瑨氏による「幸せの条件」と題する講演会を開催することを決定した。